

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終る2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010beibpi(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東大阪都市清掃施設組合 ごみ処理施設	階数	地上5階、地下2階
建設地	大阪府東大阪市水走4丁目6番1、2	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	52 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	7,800 時間/年
建物用途	事務所, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2015年10月20日
敷地面積	31,132 m ²	作成者	塩原 貞行
建築面積	6,643 m ²	確認日	
延床面積	15,477 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 59%

③上記+②以外の 59%

④上記+オフサイト手法 59%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	0
<ul style="list-style-type: none"> ・生駒山地やラグビーなど地域の特色を取入れたデザインとし、地域の方々から親しまれやすい施設となることを心掛けている。 ・効果的に緑化を施し、環境負荷低減に配慮した施設となっている。 		
Q1 室内環境 ・室内への熱の侵入に対して配慮し、日射遮蔽性能及び断熱性能を有している。 ・建築基準法規制対象外となる建築材料を全面的に使用している。	Q2 サービス性能 ・居住スペースの内装に配慮し、全館禁煙とする等、快適な空間としている。 ・構造躯体・建築設備は耐震性の高い設計としている。	Q3 室外環境(敷地内) ・周辺環境に調和した色彩計画とし、周辺に配慮した緑化計画となっている。 ・階段上にセットバックする建物形状とし、圧迫感を抑えた開放的な上部空間と開けた視界を確保している。
LR1 エネルギー ・Low-eガラスや断熱材等を効果的に使用し、空調負荷の抑制を行い、省エネルギーに配慮した施設としている。	LR2 資源・マテリアル ・雨水利用貯留槽を設けて雨水の再利用を行い、節水を考慮した衛生器具を選定している。 ・リサイクル資材を使用し、資源の有効利用に配慮している。	LR3 敷地外環境 ・敷地内の緑化や屋上緑化を設け、周囲の高温環境に配慮している。 ・主要出入口を幹線道路に面した位置としないことで、周辺地域への交通負荷の抑制に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】		建物名称	東大阪都市清掃施設組合 ごみ処理施設	
		建設地	大阪府東大阪市水走4丁目6番1、2、3、4、5、8、9、10、11(9筆)	
		用途/区分	事務所 工場	
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★☆		A
	CO2削減	★★★★★		5
	省エネ対策	★★★★☆		4
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★☆☆		2
エネルギー消費量の報告			報告しない	
【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.8	5
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0 住戸・宿泊	4
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.2	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.8	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
その他				
先進的技術の導入		技術の名称	考慮事項	
特に配慮した事項		壁面緑化、Low-eガラスにより空調負荷の軽減を図っている。		